

「映画界の風雲児 梅屋庄吉」展 関連イベント 「活弁ってな～んだ？」のご案内

長崎歴史文化博物館では、現在開催中の展覧会、「梅屋庄吉生誕150周年・明治150年記念企画展 映画界の風雲児 梅屋庄吉」に関連して、「活弁ってな～んだ？」を開催します。
ぜひご取材・情報掲載のほど宜しくお願いいたします。

活弁とは…？

活弁は、語り手である弁士がサイレント映画を上映するスクリーンの横に立ち、口頭で物語の細部や登場人物の声を語る日本の芸能です。本イベントは、実演パフォーマンス、そして体験までができる一日だけのプログラムです。「映画」という二十世紀最大の大発明品の渡来に伴って、日本人が生み出した活弁という大衆娯楽の世界へ誘います。

★レクチャー＆ワークショップ★

レクチャーでは、映画史であまり語られていない明治から大正期の弁士達の話芸、そして彼らの生き様を紹介します。ワークショップでは実際にご来場の皆様と一緒に声を出し、その楽しさを体感していただきます。

日 時：2018年11月10日(土)

「映画史の中の活弁史」 10:00～11:00

「活弁って楽しい！」を体験しよう11:00～12:00

場 所：1階ホール

講 師：弁士・麻生子八咫

※参加無料



★無声映画上映会(有料)★

1910年～1920年代に上映されていたサイレント映画3本を、活弁付きで上映します。

日 時：2018年11月10日(土) 13:30～15:30

場 所：長崎歴史文化博物館 1階ホール

上映作品：「国定忠治」1924年(ワークショップもあり)

「チャップリンの霊泉」1917年

「坂本龍馬」1928年

弁 士：麻生八咫、麻生子八咫

入場料：一般1,800円(前売1,500円) 高校生以下700円(前売500円)

※前売券は11月9日までの販売

※チケットのお問い合わせは長崎歴史文化博物館まで



弁士：麻生 八咫(あそう やた)
1952年生まれ。獨協大学卒業。活弁士・池俊行師の活弁「坂本龍馬」との出会いにより活弁士となる。1995年文化庁主催「ジャパン映画フェスティバル」(イタリア)活弁公演。1998年活弁界初の文部大臣賞受賞。



弁士：麻生 子八咫(あそう こやた)
1985年生まれ。父・八咫の公演を観て育ち、十歳で浅草木馬亭よりデビュー。2008年4月高校の英語の教科書「All aboard! II」(東京書籍)に「A Young Katsubenshi」として登場。2018年3月東京大学大学院博士課程満期退学。

